

## 皆

さまには、幸多き新春をご家族おそろいでお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

日ごろから市政運営につきまして格段のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

## 産

業廃棄物処理施設の建設をめぐり、市民の皆さまには多大なるご心配やご不安をお掛けしてしまつたことを、まずもつておわび申し上げます。ご承知のとおり、12月8日に実施された住民投票では、有効投票のうち9割余の皆さんが反対の意思を表明されました。「御前崎市における産業廃棄物処理施設の設置についての住民投票に関する条例」では、第3条第2項で「市長は、地方自治の本旨に基づき住民投票における有効投票の賛否のいずれか過半数の意思を尊重するものとする。」と規定されております。日本国憲法の3原則の一つにも主権在民とうたわれており、私としても市民の皆さまの意思を重く受け止め、事業者に対して「事業の断念を強く要請していきたい」と考えております。市民の皆さまにも動向を注視していただきたいと思います。

## 昨

年は、新元号「令和」の時代の幕開けとなった歴史的な年でもありました。安倍内閣総理大臣からは「希望に満ちあふれた新しい時代を切り開いていく」「若い世代が活躍できる時代であってほしい」「若者がそれぞれの花を咲かせることのできる日本をつくりたい」という発言がありました。本市においても、かねてから同様に考えており、政策を推進・展開していかねければならないと感じているところであります。

## 一

方で、国内に目を向けると全国各地で台風や豪雨などさまざまな災害が発生した年でもありました。特に台風19号は、関東地方をはじめ、甲信地方、東北地方で記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた皆さまには、衷心よりお見舞い申し上げます。

本市といたしましても、これらの災害を教訓に、迅速な情報発信と効果的な防災・減災対策を講じてまいります。市民の皆さまにも避難路の検証や停電への備えなどをしっかりと確認していただき、自助・共助のさらなる充実をお願いいたします。



御前崎の魅力を発信  
飛躍の年となるよう  
市政運営にまい進します